

1.1. サンプル 3

RMI-BC を使用した EJB アプリケーションの呼び出しを SAAJ クライアントから実行する手順を、サンプルアプリケーションを例にして説明します。

この項で説明する手順は次のとおりです。

- サンプルのインストール
- ドメインの起動
- アプリケーショングループとプロセスグループの作成と起動
- EJB アプリケーションの配備
- サブレットの配備
- サービスアセンブリの配備と開始
- クライアントアプリケーションのコンパイル実行

1.1.1. サンプルのインストール

RMI-BC のサンプルアプリケーションは、WebOTX マニュアルのインストールに伴って、次の場所に配置されますので、zip ファイルを展開してください。

<WebOTX マニュアルインストールディレクトリ>%samples%esb%esb.zip

ファイル構成

- ・ 3%ConvertTestBean.ear RMI BC から呼び出す EJB アプリケーションです。
- ・ 3%RMIBCSampleSOAPBinding.war SOAP BC 用のサブレットです。
- ・ 3%artifacts%rmibc_sample_convertSA.zip RMI-BC のサービスアセンブリです。
- ・ 3%clients%saaj_client.zip クライアントアプリケーションです。

1.1.2. ドメインの起動

ドメインの起動

ドメインが起動されていない場合は、起動してください。

```
otxadmin> start-domain domain1
```

1.1.3. アプリケーショングループとプロセスグループの作成と起動

WebOTX AS の Standard Edition または Enterprise Edition で、EJB やマルチプロセスモードにて ESB をご利用になる場合、アプリケーショングループとプロセスグループを作成します。

アプリケーショングループの作成

アプリケーショングループを作成します。

```
otxadmin> login --user admin --password adminadmin
otxadmin> create-apg apg1
Command create-apg executed successfully.
```

プロセスグループの作成

プロセスグループは EJB アプリケーション用と JBI コンテナ用で 1 つ用意します。

プロセスグループを作成します。

```
otxadmin> create-pg --version 7 --kind j2ee --apgroup apg1 pg1
Command create-pg executed successfully.
```

JBICONTAINERの有効化

プロセスグループ起動時に JBI コンテナを起動するように設定します。

```
otxadmin> set tpsystem.applicationGroups.apg1.processGroups.pg1.
enabledJBIContainer=true
```

(※) 改行していますが実行する際は、1行で記述して実行してください。

アプリケーショングループ プロセスグループの起動

作成したアプリケーショングループを起動します。

```
otxadmin> start-apg apg1
Command start-apg executed successfully.
```

1.1.4.EJB アプリケーションの配備

EJB アプリケーションの配備

ConvertTestBean.ear があるディレクトリで、以下のコマンドを実行します。

```
otxadmin> login --user admin --password adminadmin
otxadmin> deploy --apgroup apg1 --pgroup pg1 ConvertTestBean.ear
Command deploy executed successfully.
```

(*) --port には該当ドメインのポート番号を指定してください。アプリケーショングループ名とプロセスグループ名は、WebOTX AS Standard Edition または Enterprise Edition をご利用になる場合にだけ指定してください。

Remote インターフェースクラスのクラスパスへの追加

ConvertTestBean.ear が配備されると、次のディレクトリに Remote インターフェースクラス「ConvertTest.class」が展開されます。

```
%INSTANCE_ROOT%\applications\j2ee-apps\ConvertTestBean\ConvertTestBean_jar
\ConvertTest.class
```

この class ファイルを、次のディレクトリにコピーしてください。

```
%INSTANCE_ROOT%\jbi\bindings\RMIBinding\install_root\workspace\classes
```

RMIBinding の再起動

以下のコマンドを実行して、RMIBinding の再起動を行ってください。ただし、WebOTX AS Standard Edition または Enterprise Edition で、マルチプロセスモードにて ESB をご利用になる場合は、プロセスグループの再起動を行ってください。

RMIBinding を停止します。

```
>jbiadmin.bat --user admin --password adminadmin --port 6212 stop-component
RMIBinding
Stopped Component RMIBinding
```

RMIBinding をシャットダウンします。

```
>jbiadmin.bat --user admin --password adminadmin --port 6212 shut-down-component
RMIBinding
Shut Down Component RMIBinding
```

RMIBinding を開始します。

```
>jbiadmin.bat --user admin --password adminadmin --port 6212 start-component  
RMIBinding  
Started Component RMIBinding
```

1.1.5. サブレットの配備

サブレットの配備

RMIBCSampleSOAPBinding.war があるディレクトリで、以下のコマンドを実行します。

```
otxadmin> login --user admin --password adminadmin  
otxadmin> deploy --apgroup apg1 --pgroup pg1 RMIBCSampleSOAPBinding.war  
Command deploy executed successfully.
```

(*) アプリケーショングループ名とプロセスグループ名は、WebOTX AS Standard Edition または Enterprise Edition で、マルチプロセスモードにて ESB をご利用になる場合にだけ指定してください。

1.1.6. サービスアセンブリの配備と開始

サービスアセンブリの配備

rmibc_sample_convertSA.zip があるディレクトリで、以下のコマンドを実行します。

```
>jbiadmin.bat --user admin --password adminadmin --port 6212 deploy-service-assembly  
rmibc_sample_convertSA.zip apg1 pg1  
Deployed Service Assembly rmibc_sample_convertSA
```

(*) --port には該当ドメインのポート番号を指定してください。アプリケーショングループ名とプロセスグループ名は、WebOTX AS Standard Edition または Enterprise Edition で、マルチプロセスモードにて ESB をご利用になる場合にだけ指定してください。

サービスアセンブリの開始

配備したサービスアセンブリを開始します。

```
>jbiadmin.bat --user admin --password adminadmin --port 6212 start-service-assembly  
rmibc_sample_convertSA  
Started Service Assembly rmibc_sample_convertSA
```

(*) --port には該当ドメインのポート番号を指定してください。

1.1.7.クライアントアプリケーションのコンパイルと実行

クライアントアプリケーション

clients¥saa_client.zip

を展開してください。

ファイル構成

- ・ compile.bat コンパイル実行バッチです。
- ・ run.bat クライアント実行バッチです。
- ・ src¥Test.java クライアントのソースです。
- ・ class¥Test.class クライアントのクラスです。
- ・ xml¥test_sample.xml、xml¥header_sample.xml SOAP のリクエストメッセージを作成するための xml です。

コンパイル

次のライブラリをアプリケーションの環境変数クラスパスに追加してください。

jar ファイル

%AS_INSTALL%¥lib¥j2ee.jar

%AS_INSTALL%¥lib¥saa_client-impl.jar

%AS_INSTALL%¥lib¥endorsed¥xercesImpl.jar

%AS_INSTALL%¥lib¥endorsed¥xml-api.jar

コンパイル、および、実行時に使用する JDK のコマンドが環境変数パスに追加されていない場合は、追加してください。

compile.bat を実行し、コンパイルを行ってください。

```
>compile.bat
```

実行

クラスパスに class ディレクトリを追加した後、run.bat を実行し、クライアントを実行します。

```
>run.bat
```

呼び出しに成功すると、以下のように表示されます。

```
>java Test
-----
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<convertResponse xmlns="http://www.nec.co.jp/jbi/sample1.wsdl"><result
xmlns="">ok</result></convertResponse>
times/messages = 4516.0
```